



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月3日

上場会社名 レンゴー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3941 URL <http://www.rengo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大坪 清

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 飯田 誠

TEL 06-6223-2371

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	394,800	2.9	14,976	△32.6	16,242	△26.0	10,466	△18.7
25年3月期第3四半期	383,757	2.0	22,222	△1.9	21,936	△2.0	12,869	7.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 24,367百万円 (74.6%) 25年3月期第3四半期 13,958百万円 (48.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	42.25	—
25年3月期第3四半期	50.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	630,107	208,214	32.1
25年3月期	572,591	188,132	31.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 202,544百万円 25年3月期 180,733百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	520,000	3.5	20,000	△16.3	20,000	△17.5	12,000	△7.4	48.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) 中山聯合鴻興造紙有限公司
(注)詳細につきましては、【添付資料】P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	271,056,029 株	25年3月期	271,056,029 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	23,362,261 株	25年3月期	23,316,280 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	247,717,632 株	25年3月期3Q	256,221,439 株
----------	---------------	----------	---------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済におきましては、新政権の政策効果による公共投資の増加、雇用情勢の改善、堅調な個人消費に支えられ、緩やかに回復してまいりました。

このような経済環境の中で、板紙業界および段ボール業界におきましては、昨夏の猛暑による飲料需要の伸長など食品向けが堅調に推移したことから、生産量は前年を上回りました。

紙器業界におきましては、軟包装など他素材への需要のシフトが続いていますが、生産量は前年並みを確保しました。

軟包装業界におきましては、コンビニエンスストアの販売好調により、また、重包装業界におきましては、原子力発電所事故関連の除染用コンテナバッグ需要や石油化学関連の需要回復により、生産量は前年を上回りました。

以上のような状況の下で、当社グループは、「ゼネラル・パッケージング・インダストリー」=G P I レンゴーとして製紙、段ボール、紙器、軟包装、重包装、海外の6つのコア事業を中心に、生産性と品質の一層の向上、コスト削減はもちろんのこと、さらなる競争力や事業基盤の強化に向けた、積極的なM&Aや設備投資、グループ会社の再編などに取り組んでまいりました。

昨年5月に米国ハワイ州のグループ会社、レンゴー・パッケージング社において、同州唯一となる段ボール工場の建設に着手するとともに、7月には、国内グループ会社の和紙器株式会社において、岡山工場(岡山県岡山市)と姫路工場(兵庫県揖保郡太子町)の統合を目的とする瀬戸内工場(岡山県瀬戸内市)の建設、また、同じく丸三製紙株式会社(福島県南相馬市)においては、かねてより準備を進めておりました段ボール原紙製造設備更新の本体工事にそれぞれ着手いたしました。

さらに、重包装事業の拡充を図るため、傘下に森下株式会社(岡山県瀬戸内市)および森下化学工業株式会社(同)を持ち、主にコンテナバッグ、産業用樹脂シート、樹脂製ネットの3つの事業を展開する、重包装業界の有力企業グループであるマルソルホールディングス株式会社(同)を子会社化いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は394,800百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益は14,976百万円(同32.6%減)、経常利益は16,242百万円(同26.0%減)、四半期純利益は10,466百万円(同18.7%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの概況は、次のとおりであります。

[板紙・紙加工関連事業]

板紙・紙加工関連事業につきましては、昨夏の猛暑効果による需要増、連結子会社の増加等はありませんでしたが、板紙ならびに段ボール製品価格の軟化や原燃料価格上昇等の影響により、売上高は前年を上回ったものの、減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は283,421百万円(同0.5%増)、営業利益は13,059百万円(同34.4%減)となりました。

[軟包装関連事業]

軟包装関連事業につきましては、コンビニエンスストア向けの需要が堅調に推移したこと等により増収となりましたが、原燃料価格の上昇、設備投資に伴う減価償却費の増加等もあり減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は45,888百万円(同7.1%増)、営業利益は1,140百万円(同38.4%減)となりました。

[重包装関連事業]

重包装関連事業につきましては、コンテナバッグ等の需要増、連結子会社の増加により増収となりましたが、連結子会社の増加に伴いのれんの償却負担が新たに発生したことにより減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は23,206百万円(同26.1%増)、営業利益は724百万円(同2.0%減)となりました。

[海外関連事業]

当セグメントの売上高は17,343百万円(同15.6%増)、営業損失は584百万円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間より中国の製紙会社2社を連結範囲から除外しております。

また、海外関連事業には、海外における板紙・紙加工関連事業、軟包装関連事業、重包装関連事業が含まれております。

[その他の事業]

その他の事業につきましては、化成品事業からの撤退により減収となりましたが、運送事業の需要増もあり増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は24,941百万円(同2.3%減)、営業利益は607百万円(同74.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、季節要因による売上債権の増加や株価の上昇等による投資有価証券の増加により、630,107百万円となり、前連結会計年度末に比べ57,516百万円増加しました。

負債は、主に長短借入金の増加により、421,893百万円となり、前連結会計年度末に比べ37,435百万円増加しました。

純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加に加え、株価の上昇や為替レートの変動に伴うその他の包括利益累計額の増加により、208,214百万円となり、前連結会計年度末に比べ20,082百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は32.1%となり、前連結会計年度末に比べ0.5ポイント上昇しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点では不確定要素が多いため、平成25年10月31日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間より、従来、連結子会社であった中山聯合鴻興造紙有限公司を実質的に支配していないと判断し、関連会社として扱うことといたしました。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,817	24,899
受取手形及び売掛金	140,580	154,748
商品及び製品	15,371	16,000
仕掛品	1,593	2,168
原材料及び貯蔵品	12,279	13,295
繰延税金資産	3,677	2,593
その他	7,333	6,264
貸倒引当金	△1,002	△784
流動資産合計	202,651	219,186
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	186,977	194,291
減価償却累計額	△119,109	△122,523
建物及び構築物 (純額)	67,867	71,768
機械装置及び運搬具	403,164	411,987
減価償却累計額	△325,292	△329,469
機械装置及び運搬具 (純額)	77,871	82,518
土地	105,617	107,297
建設仮勘定	12,888	13,272
その他	24,914	25,889
減価償却累計額	△17,288	△17,891
その他 (純額)	7,626	7,997
有形固定資産合計	271,871	282,854
無形固定資産		
のれん	2,951	6,030
その他	6,407	6,584
無形固定資産合計	9,359	12,614
投資その他の資産		
投資有価証券	78,595	96,958
長期貸付金	739	4,253
繰延税金資産	848	662
その他	10,126	15,133
貸倒引当金	△1,600	△1,555
投資その他の資産合計	88,709	115,451
固定資産合計	369,940	410,921
資産合計	572,591	630,107

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,860	90,062
短期借入金	100,058	119,076
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払費用	21,474	20,426
未払法人税等	4,050	3,949
役員賞与引当金	164	—
その他	23,431	25,336
流動負債合計	233,040	263,851
固定負債		
社債	25,000	20,000
長期借入金	100,583	107,882
繰延税金負債	8,174	12,482
退職給付引当金	7,965	8,494
役員退職慰労引当金	976	868
その他	8,718	8,312
固定負債合計	151,418	158,041
負債合計	384,458	421,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,066	31,066
資本剰余金	33,997	33,997
利益剰余金	121,673	130,393
自己株式	△11,860	△11,884
株主資本合計	174,877	183,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,540	14,915
繰延ヘッジ損益	1	11
為替換算調整勘定	△685	4,044
その他の包括利益累計額合計	5,856	18,971
少数株主持分	7,398	5,669
純資産合計	188,132	208,214
負債純資産合計	572,591	630,107

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	383,757	394,800
売上原価	313,661	329,106
売上総利益	70,095	65,694
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	9,504	10,511
給料及び手当	13,924	14,880
のれん償却額	740	991
その他	23,703	24,334
販売費及び一般管理費合計	47,873	50,717
営業利益	22,222	14,976
営業外収益		
受取利息	295	291
受取配当金	1,058	1,135
為替差益	80	1,149
負ののれん償却額	379	351
持分法による投資利益	381	498
その他	1,603	1,521
営業外収益合計	3,799	4,949
営業外費用		
支払利息	1,854	1,581
その他	2,231	2,101
営業外費用合計	4,086	3,683
経常利益	21,936	16,242
特別利益		
受取補償金	1,396	971
その他	616	549
特別利益合計	2,012	1,520
特別損失		
固定資産除売却損	406	414
工場リニューアル費用	119	229
その他	2,570	398
特別損失合計	3,095	1,042
税金等調整前四半期純利益	20,853	16,720
法人税、住民税及び事業税	8,019	5,659
法人税等調整額	△76	278
法人税等合計	7,943	5,938
少数株主損益調整前四半期純利益	12,910	10,781
少数株主利益	40	314
四半期純利益	12,869	10,466

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	12,910	10,781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	812	8,412
繰延ヘッジ損益	△0	11
為替換算調整勘定	67	3,345
持分法適用会社に対する持分相当額	169	1,816
その他の包括利益合計	1,048	13,586
四半期包括利益	13,958	24,367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,888	23,587
少数株主に係る四半期包括利益	70	780

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。